	① 尾張キャンポリー ② 各団の活動報告 ③ ④		第24号 令和3年11月30日 編集・発行 日本ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区 組織拡充委員会 広報部会 編集・発行 編集責任者 中村 一徳
---	---	--	---

2021尾張ブロックキャンポリー

(開会式の様子)



2021尾張ブロックキャンポリーのふりかえり

尾張東地区コミッショナー 小林弘幸

令和3年8月に尾張ブロックにて、新城吉川野営場でブロックキャンポリーが開催されました。この大会は2020年の夏に第3回東海4県合同野営大会が新型コロナウイルス感染拡大のため中止されたために、それに代わる野営大会を提供できないかという、尾張3地区の地区コミッショナーの話し合いの中で開催を決めさせていただきました。

大会開催にあたり、大会運営のための各種調整、新型コロナウイルスの感染対策や感染状況変化など、通常の大会よりも多くの問題を解決しながらの開催となりました。

私は運営側の参加者として本大会に参加し、期間中には施設の設置、維持を通して、参加されたスカウトの様子を見ていました。施設点検中に、おそらく小学6年生くらいと思われる男子スカウト3名が水道でポリタンクに水を入れているのに気が付きました。少し手を止め、静かに彼らの話に耳を傾けると、元気な声で、誰が水を入れるのか、誰がポリタンクを運ぶのかなどでもめていました。さらに耳を傾けていると、僕がやりたい、次に運ぶ人、水を入れる人の順番でもめていました。目をやるとそのスカウトたちはものすごく楽しそうな顔をしながら、大きな声で

もめていました。こんな楽しい、大人にとっては些細なことと言い争っているスカウトを見ていたら、不思議と目に涙が溜まってきたことをよく覚えています。

コロナ禍で楽しい、自分たちが思い描いていたスカウト活動が出来ないストレスが、彼らの中で無意識に溜まっていて、ようやく参加できたキャンプで、そのストレスを発散するかのような彼らの元気な顔。われわれ成人指導者が何とか開催にこぎつけたこの大会が、彼らの「たのしかった思い出」に少しでも役立てたのではないかと感じました。

まだしばらくは、新型コロナウイルスとの共存が続きますが、この状況下で、どのようにスカウトが楽しく活発に活動をする環境を作っていくか、取り組んでいきたいと思います。

最後になりますが、ブロックキャンポリーに参加いただいたスカウト、成人指導者、協力をいただいた業者様、新城市役所、関係したすべての皆様に感謝を申し上げます。

◇「これからが大切！」

副コミッショナー(BS 担当)
古木 啓介

尾張キャンポリー2021 はスカウトたちに、辛く、でも楽しい経験を残すことができ、よい大会でした。これを機としてスカウト活動へのモチベーションが各隊で高まっていると思います。これは「スカウトたちが自ら行動し、乗り越えた」経験があるからにほかなりません。この勢いを次につなげることが、指導者みんなの新しいミッションだと考えています。スカウトたちを信じて、活動をスカウトたちの手に活動を委ね、自らの行動で実現していく体験を積み重ねられるよう、指導者一丸となって隊活動を工夫するチャンスだと感じています。これからが指導者の腕の見せ所です！



森の中の隊長会議(お疲れさまでした！)

大会 規模・概要の紹介

大会名：尾張キャンポリー2021(OC2021)

会 期：令和3年8月6日～11日

会 場：日本ボーイスカウト愛知連盟・吉川野営場

主 催：日本ボーイスカウト愛知連盟尾張南地区・尾張西地区・尾張東地区

人 員：参加隊・大会本部含む

尾張南1個隊 スカウト33名 指導者16名

尾張西3個隊 スカウト77名 指導者24名

尾張東7個隊 スカウト181名 指導者60名

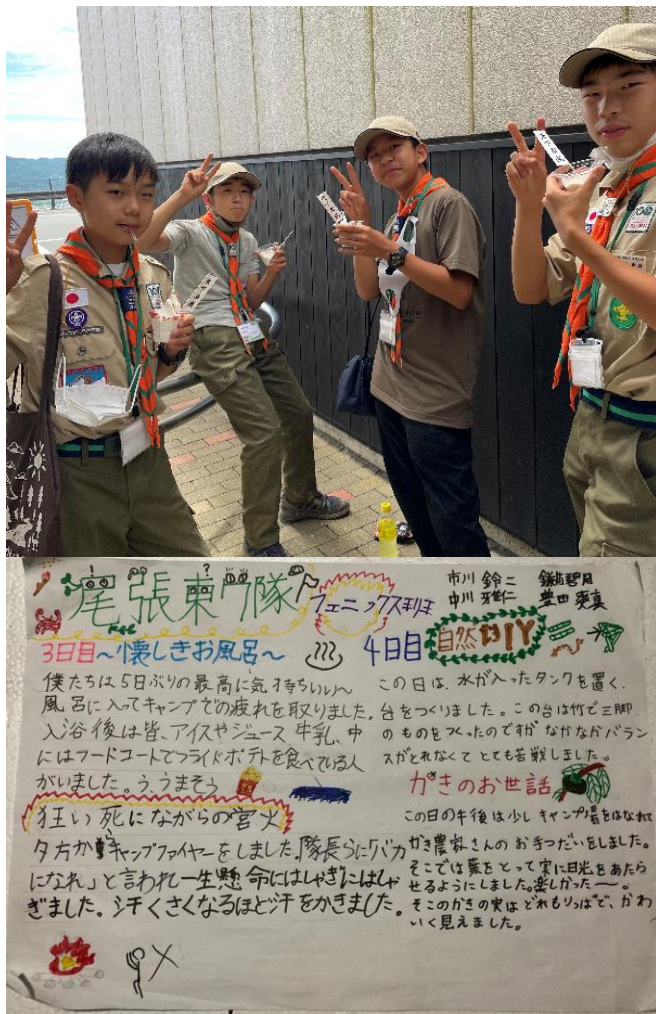
テーマ：Friendship & Fellowship



◇ 「尾張キャンポリー2021」

日進第1団
BS 隊副長 山本 美佳

8月6日（金）～11日（水）吉川野営場にて尾張キャンポリー2021が開催されました。終了後、一番最初に思ったこと、5泊6日無事に終わって本当によかった！ただただそれだけです。今回はコロナ禍、台風、猛暑と大変な時期であったと思います。しかしどんな状況下でもスカウト達が明るく、楽しそうに活動をしている様子が見られたこと、それが本当に嬉しく、私を幸せな気持ちにさせてくれました。尾張東7隊の独自プログラムとして柿農家で奉仕活動をさせて頂きました。雨の中でしたが、想像以上の面白さに、みんな夢中になって作業をしていたのが心に残っています。



大会運営に関わったすべてのスタッフの

方々に感謝の気持ちでいっぱいです。素晴らしい時間を過ごさせて頂きどうもありがとうございました。

◇ 「初めてのキャンプ大会」

日進第1団
BS 隊 真野 陽斗

僕は8月6日から8月11日までのキャンポリーに参加しました。キャンポリーでは、それぞれの団が持っている技能を最大に活かせるとてもいい体験になったと思いました。

キャンポリー中は、初めて会う団がほとんどで少し不安でしたが、すれ違う時のあいさつや売店で会った時のあいさつで、少しずつ不安がなくなりました。



キャンポリー中のプログラムに、奉仕活動が数回ありました。はじめは何でここまで来て奉仕活動をするのかよくわかりませんでしたが、あくまでも自分たちは客ではなく、森

にお邪魔しているのだと気づきました。奉仕活動が終わるといろんな人に「ありがとう」と言ってもらえました。

このキャンポリー中には、ただキャンプするのではなく、いろいろな人と関わり合う楽しさもありました。

はじめてのキャンプ大会はとても楽しく終わりました。

◇「奉仕隊として参加して」

日進第1団
ベンチャー隊 金田泰知

今年の八月、尾張ブロックキャンポリーに奉仕隊として参加した。今回初めての奉仕隊としての参加である。いままでは参加隊としての参加であったが奉仕隊と参加隊とではその目的が異なる。奉仕隊の大きな目的は参加隊の皆さんに大会を楽しんでもらうことだ。奉仕隊は、その目的を果たすために色々なサービスなどを提供する。一見つまらなさそうに感じるかもしれないが、参加隊の皆さんが楽しんでいるのを見るとこちらもとても嬉しく、楽しい気持ちになれる。また、奉仕隊には参加隊と違う大会の楽しみ方がある。それは、他の団の人との交流だ。奉仕隊には色々な地域から参加した人が居り、その人たちと交流する事により色々な物の考え方を感じたり出来るのが奉仕隊の一番の楽しみではないかと僕は考えている。また、機会があったら大会の奉仕隊として参加したいと考えている。

◇「キャンポリーを終えて」

小牧第2団
ボーイ隊 石田 遥斗

コロナ過であまり野外活動ができない中、ようやくできたキャンプ。当日までワクワクしていました。キャンポリーの為に自分は2度事前訓練に参加しました。しかし、久しぶりのキャンプなのでたくさん注意されたり、失敗をしました。また、体力も落ちていたので解散の時にはとても疲れていて大変でした。正直、当時の自分はキャンポリーに参加することにおいてとても不安で、心配でした。途中でやめようかとも思いました。

最初はとてもやる気だった自分が今になってとても恥ずかしく感じました。

ぐだぐだしながらも迎えた当日、事前訓練の様子からやる気のなかった僕は、野営場に移動している間もとてもむずむずしていました。自分は訳有って一日遅れでの参加になったので「班員のみんなはちゃんと設営できたかな？」ととても心配でした。しかし、サイトに着いてみると、テントもタープも立ち釜戸もきれいに立っていて事前訓練の時との違いにとってもびっくりしました。見違えるようでした。その後も失敗をしながらもとても良い思い出が作れました。

退場時、野営場から帰るのがなごりおしくなるほどでした。



◇「キャンポリーに参加して」

小牧第2団
ボーイ隊上級班長 近藤 伶音

私が今回参加した尾張キャンポリーは、17NSJ以来の長期キャンプでした。

17NSJとは違い、同じ団・同じ班の仲間といたいつものメンバーとの活動のためとてもやりやすく助かる場面も多かったです。私は、諸事情により2日目からの参加だったので、私の班は班長・次長不在でのスタートでした。一日中大変だったそうで、日頃の指導の重要性を実感しました。

いつもと違う場所での活動はとても新鮮で楽しかったです。

ほかの団のスカウトとの交流もする事ができてとても刺激を受けました。特に交流会での思い出は、帽子に名前を書いてもらったり、書いたりしてとても有意義な時間を過ごすことができました。
中学生生活最後の年に最高の思い出ができてよかったです。



◇「キャンプリーに参加して」

小牧第2団
ボーイ隊 岩瀬 晶帆

私は、キャンプリーに参加して友達が増えました。その中の一人は、私が自己紹介の時に「アニメが好き」と言って、その子も自己紹介の時に「アニメが好き」と言っていたので、話しかけてみました。そうすると、好きなアニメが一緒でした。なのでいろいろ話をして仲良くなれました。私の隊は人数が少ないので、もっとほかの隊の人たちと友達になって色々な事を話してみたいです。



◇「尾張キャンポリーに参加して」

小牧第2団
ベンチャー隊 大塚洋慶



私は尾張キャンポリーで編成隊の上級班長として活動に参加しました。最初の事前訓練では、悪天候もあり、班をまとめるのが難しく、諦めそうになる場面がありました。本番でも、時間に間に合いそうになかったり、それに対してどのような指示を出すのかなどを考えるのが大変でした。ただ、そういったところも含めて、良い経験になったと思います。長期キャンプ自体久しぶりで、どうなるか不安でしたが、最終的には全員大きな怪我もなく、楽しく終わったのはとても良かったと思っています。

◇「カブスカウト夏キャンプ」

春日井第5団
カブ隊 石黒真翔

ぼくは、カブスカウト夏キャンプに行きました。ぼくが一番キャンプで心に残ったことは、初日に行った山のぼりです。

山のぼりで一番楽しかったのは、山頂についたときです。そのときすごくたっせいかんがしました。外の空気がとてもきれいできもちよかったです。

次にぼくが一番くやしかったのは弓矢です、さいしょはうまくいけたけど、本番にすべてはずしてしまいました。とてもくやしかったです。

ぼくは、このキャンプでいろんなことをおそわりました。今度は、富士山にものぼってみたいです。



◇「キャンプの思い出」

春日井第5団
カブ隊 平田旬

わたしはキャンプの思い出が三つあります。一つめは山にのぼったことです。と中でリタイヤしちゃったけど、また次はいちばん上までのぼってみたいです。いちばん上には神社があるそうなので、こんどこそはがんばりたいです。

二つ目は、木の工作をしたことです。木の工作はそんなにうまくいかなかったけど、じゅうがつくれました。とばせるようにきりこみをいれて、そこからとばすことにしました。

三つ目は、ゲームをしたことです。おぼけ屋しきゲームをしました。わたしはしんぱんだったから遊べなかったけど、どうなるかがドキドキしました。どうすればどうなるかをそうぞうしました。けっきょく時間がそんなになかったから遊んでいる人全員ゴールまでたどりついていませんでした。だけどおもしろかったので、良いと思いました。



◇「カブ隊夏キャンプ」

春日井第5団
カブ 長谷川博一

山に登って、標高三千メートル近くまで上ってきた時に「苦しいなあ」と思いました。リタイヤして戻る時「この山登った人すごいなあ」と思いました。



カブ隊は六人で、1人は休みで自分をふくめ三人リタイヤしました。残り二人の行動を見ると、雨がふっていたので、「こんなに雨が降っているのにがんばっているなあ」と思いました。

これからはもっとがんばって別荘に行きたいです。

◇「カブに入って」

尾張旭 第1団カブ隊 うさぎ
氏名：井村 優人

カブ隊に入って、芋の苗を植えました。苗を植える前に、草ぬきもしりました。草ぬきのときは、とても疲れました。市内のウォーキングで4KM ぐらい歩きました。

とても疲れてしまいました。
 森林公園での「木づかいフェスタ」で、
 木のたまごをもらいました。
 とてもつるつるでした。
 木でできた橋も渡りました。
 長くてゆらゆらしない橋まで、大きいスカウ
 トの子たちは、つくれてすごいと思いました。



◇ 「ハロウィンの衣装」

尾張旭 第1団カブ隊 くま
 氏名：鈴木 悠史



今日は、ハロウィンのいしょうを作りました。
 なかなか工夫しないと上手に作れなかったで
 す。
 がんばって、良いハロウィンのいしょうがで
 きました。

◇ 「ハロウィンの仮装」

尾張旭 第1団カブ隊 うさぎ
 氏名：鈴木 睦史

10/31 ハロウィンのかそうを作りました。
 むのが切れなくて、たい長が切ってくれまし
 た。
 次は自分で切りたいです。



◇ 「尾張旭城跡めぐり」

尾張旭 第1団カブ隊長
 氏名：林 緑

活動制限がとけ、久しぶりの集会で、市内の
 城跡をめぐるウォークを行いました。
 スカウトは元気にポイントを歩き、市の発行
 する、御朱印ならぬ御城印をゲットしました。
 直前まで小雨が降る肌寒い日でしたが、ゴー

ルの頃には青空ものぞき、記念写真もバッチリでした。



◇「大変だった、いねかり」

小牧第2団
カブ隊クマ 佐竹 幸央

ぼくは、10月9日にいねかりをしました。一番大変だったのは、中腰でかまを使っていねをかりとるところです。他にも、クモがいて、かりにくかったり、いねを10本正確にまとめるのがむづかしくて、大変でした。

とても大変だったけど、何かと色々楽しかったです。待ち時間にザリガニ釣りをしたりしました。メダカやカエルもいました。

かまでザクザク切るのが楽しかったです。



◇「楽しかった夏キャンプ」

小牧第2団
カブ隊クマ 千葉 マテウス優星

ぼくは7月31日から8月2日にかけての夏キャンプが、いままでカブ隊のクマの活動で一番思い出に残った活動です

夏キャンプではキャンプファイヤーをやったり、海に行ったりなど、色々なことをしました。コロナウイルスでキャンプに行けるかどうかふあんでしたけれども、なんとか行けて良かったです。



キャンプで一番楽しかったのは、海で少し遊んだことです。なぜなら、ぼくは海で遊んだことは人生で一度もなかったからです。海はたまにプールで遊ぶ時よりも楽しくて、ワクワクしました。水てっぼうでうちあう遊びもしました。1組と2組にわかれて行ったけれど、リーダー1人が、そのうちあいする遊びに入ってきてリーダーだけねられました。来年はコロナウイルスがなくなって、ウサギとシカが1つあがって、楽しく遊べるようになってほしいです。

◇「班長の初日」

小牧第2団
ボーイ隊 杉井 亮太

10月17日この日は自分が班長になってから初めての活動でした。活動の内容は、「魚釣り」とハイキング」、自分が活動休止中に（活動を再開したら〇〇をしたい）と言っていたうちの一つです。

そして、活動場所に班員と移動していた時の事です。公共交通機関(電車)で移動していた時、班員が窓側に1人で座っていた2人掛けの座席におばあさんが座り、そのまま寝てしまいました。しばらくして乗り換えの駅に近づき僕たちは降りなければならないのですが、おばあさんが気持ちよさそうに眠っていたところを通してもらうために起こすのも忍びなく、このようなときにはどうしたら良いか分からずしどろもどろしていました。

この時、近くで僕たちの事を見ていた方がおばあさんに声をかけてくださいました。自分は、この出来事から、おきての中の「スカウトは親切である」を実感しました。また、「感謝の心」も改めて感じました。

◇「くま登山」

日進台1団
カブ隊くまスカウト 眞野 千陽

ぼくは、10月3日に御在所岳にくま登山に行きました。特に初めの階段や岩場がけわしくて、とても楽しかったです。途中でばてちゃったけど、みんなが待ってくれてとてもうれしかったです。

とくに楽しかったところは、帰りのロープウェイや8合目のカモシカ広場の後のがけです。高いところからロープウェイを見た時、ロープウェイの方が高いと知ってとてもおどろきました。おばれ岩はどうしたらあの形になったのかふしぎに思いました。

隊長が下見に来た時、頂上は雲より高いと言っていてとてもわくわくしていました。でも、その日にかぎって雲一つなくて、ざんねんだったのか良かったのかよくわかりませんでした。

頂上に着いたら、みんなでお弁当を食べたりしてとても楽しかったです。

とてもきつくてつらくて、がんばって登り

ました。

次に行く時は、頂上が雲の上かたしかめたいです。



◇おうちスカウティング スカウトデー奉仕

日進第1団
ビーバー隊隊長 内藤晴美

今年のスカウトデー奉仕はコロナ渦で各家庭で通学路やいつも遊ぶ公園を中心に清掃奉仕をお願いしました。いつも元気なビーバー、仲間と一緒にじゃないから大丈夫かな、と心配しましたが、さすがビーバー！それぞれがしっかり奉仕できました。1人ずつ報告します。

ビッグビーバー中島拓哉

ゴミ拾いしてきれいになってうれしい！たばこや花火のポイ捨てが怖いね、フェンスの向こう側のゴミも考えて拾ったよ。

ビッグビーバー池田向駿

たばこのゴミが多かった、拾って手が臭くなったけど僕は洗ってきれいになるけど地球さんは臭いと鼻をつまんでるかも、でも僕が拾って喜んでるよね

ビーバー鎌苅亜星

ゴミを見つけるのは楽しかったよ。袋に入りきれないほどたくさん拾ってうれしいけれどゴミを捨てる人は悪いね。

ビーバー田中亮成

公園に隠してゴミがたくさん落ちてたよ、ひどいね、良くないね。たばこのゴミも小さい子も遊ぶ公園なのに危ないね、火事になった

ら大変なのに。

ビーバー野田和希

公園にお菓子の袋や水風船のゴミ、たばこの
ゴミもたくさんあったよ。自分のゴミは自分
で持って帰るよ。

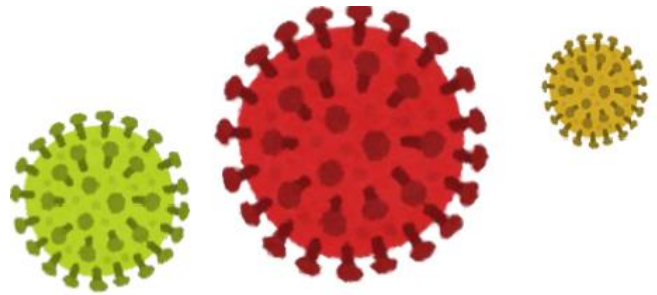
それぞれが親子で奉仕してくれた事で身近な
環境について考えてくれました。保護者の皆
さんの協力、いつもありがとうございます。



尾張東地区行事予定の案内

- 12月19日(日) ローバースカウトのための
「セーフ・フロム・ハーム」セミナー@東別院
会館
- 1月8日(土) ゲーム研修会@レディヤンかす
がい
- 1月16日(日)午後 団委員長研修協議会@名
古屋国際センター別棟ホール
- 1月23日(日)午後 スカウト運動活性化戦略
セミナー@邦和セミナープラザ
- 3月13日(日) BS 講習会@名芸大アートスク
エア
- 3月27日(日) スキルトレーニング研修会
- ベンチャースカウト対象
- 1/16(日) 看護章講習会
- 2月5日(土)6日(日) 「電気章」・「エネ
ルギー章」修得研修会@東別院会館

新型コロナウイルス感染に注意



コロナウイルスやっつけるぞ
☆ 石鹸をつけて手を洗いましょう
☆ 咳が出るときはマスク着用
☆ 風邪を引いたら家で休む

不要不急の旅行や帰省など県外への移動の自
粛をお願いします

感染再拡大の防止に向け、出来る限りの対策
をとり活動しましょう

《編集者より》

記事投稿ありがとうございました。
コロナの影響により、活動が制限され「はや
ぶさ」の発行にも影響がでていますが、感染
者も減少し制限も解除となり以前の状況に戻
りつつあります。次回も予定通り発行でき
ることを期待して、楽しい記事をお待ちしてい
ます

次回は3月末締め切りです。
担当はAグループ 犬山5 江南1 北名古屋
1 瀬戸6 長久手1 春日井2 春日井8で
す。